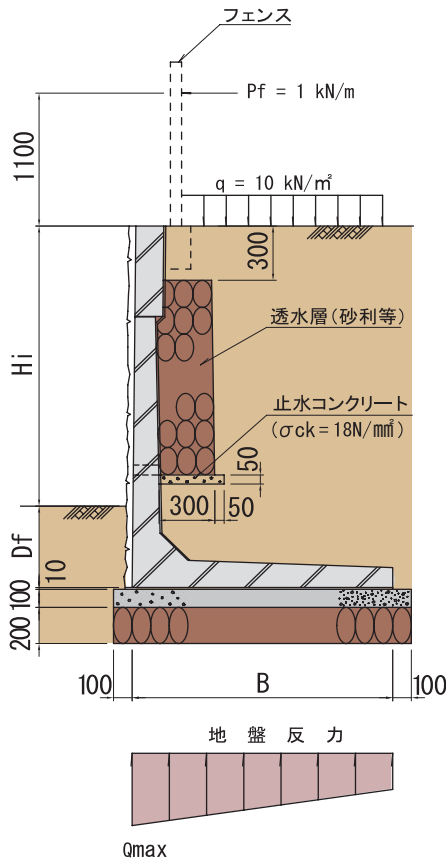
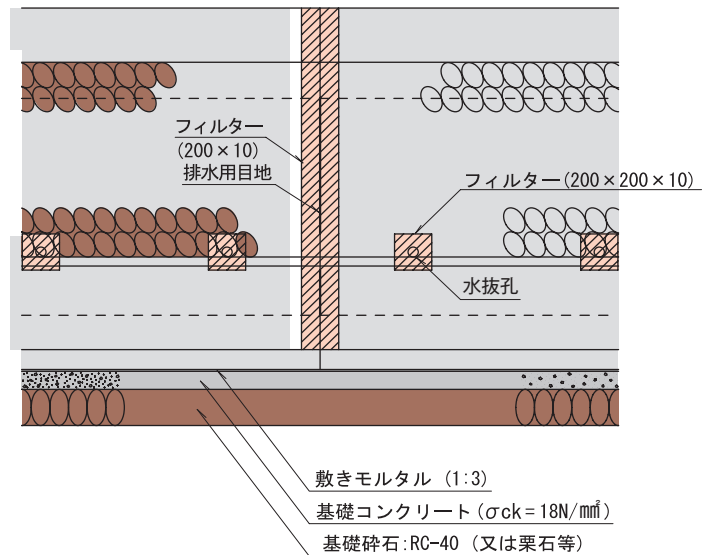


施工技術の説明



施工参考図



(1基当たり)

呼び名	フィルター (m)	透 水 層 (m)	止水コンクリート (m)	敷きモルタル (m)	基礎コンクリート (m)	基礎砕石・栗石 (m)	Qmax (kN/m)	
							Pf=0	Pf=1
750	0.217	0.047	0.035	0.012	0.160	1.600	49.37	131.64
1000	0.267	0.197	0.035	0.015	0.190	1.900	62.94	104.03
1250	0.317	0.227	0.035	0.018	0.220	2.200	76.08	103.81
1500	0.367	0.377	0.035	0.022	0.260	2.600	83.89	100.89
1750	0.412	0.497	0.035	0.024	0.280	2.800	100.31	117.14
2000	0.462	0.647	0.035	0.028	0.320	3.200	106.93	118.87
2250	0.509	0.797	0.035	0.030	0.340	3.400	122.97	134.94
2500	0.559	0.947	0.035	0.034	0.380	3.800	129.44	138.64
2750	0.604	1.007	0.035	0.036	0.400	4.000	145.09	154.50
3000	0.654	1.157	0.035	0.040	0.440	4.400	151.47	158.92

Pf=0 : 常時 [長期]
Pf=1 : フェンス荷重時 [短期]

- 高さを規格外とする場合、その他の項目については直近上位の規格を準用する。
- 製品の頭部を斜切とする場合、その勾配は 25%以下とする。
- 製品の長さは 1m まで縮小することができる。
- フェンスを設置するために、製造仕様書に基づいて天端に処置を施した擁壁については、フェンスの支柱と前壁を一体化して施工することができる。
- フェンスの高さについては、2.0m を限度とし、見付面積率は 50%以下とする。
- Df は、内部摩擦角 30 度未満の場合、 $0.2 \times Hi$ 以上かつ 45cm 以上とし、30 度以上の場合、 $0.15 \times Hi$ 以上かつ 35cm 以上とする。